

2021年1月6日

各位

日清食品ホールディングス 広報部

TEL：03-6233-6850

2021年1月5日 日清食品グループ合同初出式

安藤宏基社長・CEO年頭所感について

1月5日、午前9時より「日清食品グループ合同初出式」を、日清食品グループの国内外事業所および在宅勤務中の全社員に向け、弊社東京本社（東京都新宿区）からライブ配信にて執り行いました。

年頭にあたっての、安藤宏基（あんどこうき）社長・CEOからの訓示内容は下記のとおりです。

記

昨年は新型コロナウイルスの世界的な大流行に直面し、企業の「レジリエンス」が問われた1年だった。「レジリエンス」とは、強靱性の意味だが、「あらゆる困難な状況にも屈することなく、しなやかに適応して、社会に貢献できる企業力」と定義している。当社グループは、創業者が設計した商品特性と事業構造により有事に必要とされる企業として特需に対応してきた。

このような環境下、2021年に取り組むべき経営課題を3つ掲げる。

1つ目は「50周年を迎えるカップヌードルのグローバルブランディング推進」だ。1971年に発売し9月に50周年を迎えるカップヌードルは、昨年度国内売上1,000億円を達成した。世界では100か国で販売する状況に至っている。今年「グローバルブランディング」を一段と推進していきたいと考えている。

2つ目は「日清版『グレート・リセット』の施行」。コロナ禍を経て、企業は新たなステージに突入していく。社内構造の変化にあわせて企業構造を見直し、BCPやSCMなども整備することで、有事を成長の好機としていかなければならない。当社グループでも、社会の課題解決に貢献しながら、成長していくために、社内のさまざまな分野で構造改革を大きく前進させていく。

3つ目は「中長期成長戦略の執行」。今年新たな成長プランが始動する。これまでの業績に満足することなく、更なる成長のための一歩を踏み出していく。

創業者は「成長一路、頂点なし」と言っていた。成長してこれで終わりというのではなく、成長するということには頂点がない。次の成長を求めて、常に挑戦していくことが重要だ。常に挑戦するスタンスを忘れず新たな成長へ踏み出す2021年にしてほしい。

以上